

水質汚濁防止法

有害物質貯蔵指定施設 有害物質使用特定施設 設置届等記入要領 (第5条第3項関係)

提出部数

2部(申請者控えを含む)

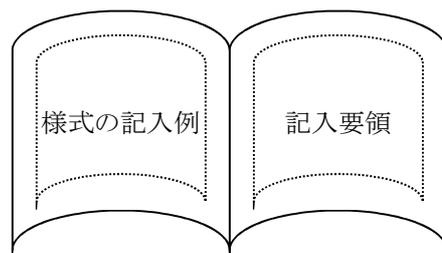
提出・問合せ先

川崎市環境局環境対策部環境対策推進課発生源水質担当

044-200-2521

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

川崎市役所第三庁舎 17F



様式第1（第3条関係）（表面）

① 特定施設（有害物質貯蔵指定施設）設置（使用、変更）届出書

② 年 月 日

川崎市長 殿

③ 住所 〒210-XXXX
川崎市川崎区〇〇町*-*-*
〇〇株式会社〇〇工場
氏名 代表取締役 XX XX
氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名
044-XXXX-XXXX

④ 電話番号

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項（第6条第1項又は第2項、第7条）の規定により、特定施設（有害物質貯蔵指定施設）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	⑤	〇〇株式会社〇〇工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	⑥	〒210-XXXX 川崎市川崎区〇〇町 *-*-*	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類		※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1 (裏面)

第 5 条 第 3 項 関 係 ⑧	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別 7	<input checked="" type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

① 届出の名称

届出様式は、特定施設（有害物質貯蔵指定施設）設置届、使用届、変更届で共有されているため、該当しない部分を二重線で消して届け出てください。

例) 設置届を行う場合 特定施設（有害物質貯蔵指定施設）設置~~（使用、変更）~~届
使用届を行う場合 特定施設（有害物質貯蔵指定施設）設置~~（使用、変更）~~届
変更届を行う場合 特定施設（有害物質貯蔵指定施設）設置~~（使用、変更）~~届

② 年月日

届出日を記入してください。

③ 届出者氏名

届出者の氏名又は名称、郵便番号、住所及び電話番号を記入し、法人にあっては、その代表者の氏名を併せて記入してください。

法人において、代表者とは特定施設（有害物質貯蔵指定施設）を設置する事業場の代表者であって、必ずしも本社の代表者である必要はありません。

④ 届出に係る根拠条文 該当しない条項を二重線で消してください。

(該当する根拠条文)

設置届の場合 第5条第1項（公共用水域に水を排出する事業場の特定施設）
第5条第3項（有害物質貯蔵指定施設及び公共用水域に水を排出しない事業場の有害物質使用特定施設）
使用届の場合 第6条第1項
変更届の場合 第7条

⑤ 工場又は事業場の名称

特定施設（有害物質貯蔵指定施設）を設置しようとする工場又は事業場の名称を記載してください。

⑥ 工場又は事業場の所在地

特定施設（有害物質貯蔵指定施設）を設置しようとする工場又は事業場の所在地及び郵便番号を記載してください。

⑦ 有害物質使用特定施設及び有害物質貯蔵指定施設の別（第5条第3項）

該当するものにチェックを入れてください。

⑧ 各項目を明らかとする書類を別紙として添付していただきます。できる限り、図面、表等を利用してください。

- 使用届出書は、設置届に準じて記載してください。
- 変更届は変更する部分のみ、変更前と変更後が参照できるように記載してください。

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の構造

工場又は事業場における施設番号 ①	B-1	B-2
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別 ②	有害物質使用特定施設 (65 酸又はアルカリによる表面処理施設)	有害物質使用特定施設 (66 電気めっき施設)
型 式 ③	浸漬式 (△△△社製 CM-5)	全自動バレル回転式 (△△△社製 ZB-A1)
構 造 ④	鉄製、内部を塩化ビニールライニング (構造図は資料〇のとおり)	鉄製、内部を塩化ビニールライニング (構造図は資料〇のとおり)
主要寸法 ⑤	槽寸法 ・酸浸槽 1m×1m×1.5m×1槽	・装置全体で 1m×10m×1.5m (各槽の寸法は資料〇のとおり)
能 力 ⑥	ねじ 3,000 個/日	ねじ 5,000 個/日
配 置 ⑦	めっき工場棟 1階 (配置は、資料〇のとおり)	めっき工場棟 1階 (配置は、資料〇のとおり)
床面及び周囲 ⑧	床面は厚さ 100mmのコンクリート 周囲には側溝及びためますを設け、流出を防止	床面は厚さ 100mmのコンクリート 周囲には側溝を設け、流出を防止
設置年月日 ⑨	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日 ⑩	△△年 △△月 △△日	△△年 △△月 △△日
工事完成予定年月日 ⑩	△△年 △△月 △△日	△△年 △△月 △△日
使用開始予定年月日 ⑩	△△年 △△月 △△日	△△年 △△月 △△日
その他参考となるべき事項 ⑪		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

- ① 工場又は事業場における施設番号
工場又は事業場で付している施設番号を記載してください。
 - ② 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別を記載してください。水質汚濁防止法施行令別表第 1 に掲げる番号及び名称を記載してください。
 - ③ 型式
自動式、浸漬式等、施設の型式をメーカーのカタログ等で確認し、記載してください。
また、施設に商品名等の名称があれば、併せて記載してください
 - ④ 構造
ステンレス製、FRP 製等、施設の材質を記載し、構造図を添付してください
 - ⑤ 主要寸法
施設の縦、横、高さ等の寸法をメートル単位で記載してください。その他、必要に応じて、単位を付して記載してください。
 - ⑥ 能力
時間（1 日）あたり又は 1 バッチ当たりの処理能力を単位を付して記載してください。
 - ⑦ 配置
有害物質使用特定施設及び有害物質貯蔵指定施設を設置する建物の名称等を記載してください。
有害物質使用特定施設及び有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要施設の配置を平面図等に記載し、添付してください。
 - ⑧ 床面及び周囲
有害物質使用特定施設及び有害物質貯蔵指定施設本体の床面及び周囲の構造等を記載してください。防液堤については容量を記載してください。
 - ⑨ 設置年月日
特定施設等使用届又は構造等変更届の場合に記載してください。
 - ⑩ 工事着手、工事完成、使用開始予定年月日
設置届又は構造等変更届の場合に記載してください。
原則として、特定施設設置届又は構造等変更届の届出書を提出し、受理されてから 60 日間は、工事に着手できませんので、工事着手予定年月日は、受理されてから 60 日以降の日になるよう記載してください。
ただし、審査により排水基準及び構造基準に適合すると認められるときはこの期間を短縮し、届出者に通知します。
- 工事着手とは、届出施設本体の設置の工事のみならず、排水系統や構造基準に係る工事全般を含みます。どこを着手とみなすかは個別に御相談ください。
- ⑪ その他参考となるべき事項
施設の構造について、その他参考となるべき事項を記載してください。

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の設備

工場又は事業場における施設番号 ①	B-1	B-2
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別 ②	有害物質使用特定施設 (65 酸又はアルカリによる表面処理施設)	有害物質使用特定施設 (66 電気めっき施設)
設備 ③	地上配管 (配管①、②、フランジ①～③、継手) 排水溝、ためます	地下配管 (トレンチ内) (配管①、②、フランジ①、②) 地下配管 (埋設配管) (配管③、フランジ①、②)
構造 ④	配管① ステンレス鋼製 配管② ステンレス鋼製 フランジ①～③ ステンレス鋼製 継手 ステンレス鋼製 排水溝、ためます コンクリート製、底の厚さ 50mm ビニルエステル樹脂で被覆	地下配管 (トレンチ内) 配管①、② ステンレス鋼製 トレンチ コンクリート製、厚さ〇mm ビニルエステル樹脂で被覆 地下配管 (埋設配管) ③ ステンレス鋼製
主要寸法 ⑤	配管① 直径 100mm×厚さ〇mm×〇m 配管② 直径 100mm×厚さ〇mm×〇m フランジ①～③ 直径 100mm×厚さ〇mm 継手 直径 100mm×厚さ〇mm 排水溝 幅 300mm×深さ 200mm×〇m ためます 〇mm×〇mm×〇mm	地下配管 (トレンチ内) ①、② 直径 100mm×厚さ〇mm×〇m フランジ①、② 直径 100mm×厚さ〇mm トレンチ 幅〇mm×深さ〇mm×長さ〇m 地下配管 (埋設配管) ③ 直径 100mm×厚さ〇mm×〇m フランジ①、② 直径 100mm×厚さ〇mm
配置 ⑥	めっき工場 1 階 (配置は資料〇のとおり)	めっき工場 1 階 (配置は資料〇のとおり)
設置年月日 ⑦	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日 ⑧	△△年 △△月 △△日	△△年 △△月 △△日
工事完成予定年月日 ⑧	△△年 △△月 △△日	△△年 △△月 △△日
使用開始予定年月日 ⑧	△△年 △△月 △△日	△△年 △△月 △△日
その他参考となるべき事項		配管②に流れる汚水からは、有害物質は検出されない

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

- ① 工場又は事業場における施設番号
別紙 12 の①「工場又は事業場における施設番号」に同じ。
- ② 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別
別紙 12 の②「有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別」に同じ。
- ③ 設備
施設に付帯する設備の名称を記載してください。（地上配管、バルブ類、フランジ類、継手類、ポンプ設備、排水溝、ためます）
- ④ 構造
施設に付帯する設備の材質を記載してください。検知設備を有する場合には、その旨を記載してください。地下配管（トレンチ）の場合は、トレンチの構造についても記載してください。
- ⑤ 主要寸法
設備のうち主なものについて、設備の縦、横、高さ等の寸法をメートル単位で記載してください。その他、必要に応じて、単位を付して記載してください。
- ⑥ 配置
付帯する設備を設置する建物の名称等を記載してください。
付帯する設備及びこれに関連する主要機械又は主要施設の配置を平面図等に記載し、添付してください。
地下に設置されている場合は、その旨も記載してください。
- ⑦ 設置年月日
別紙 12 の⑨「設置年月日」に同じ。
- ⑧ 工事着手、工事完成、使用開始予定年月日
別紙 12 の⑩「工事着手、工事完成、使用開始予定年月日」に同じ。
- ⑨ その他参考となるべき事項
施設に付帯する設備の構造について、その他参考となるべき事項を記載してください。
有害物質を含む水が流れない場合には、構造等に関する基準が適用されないので、その旨を記載してください。

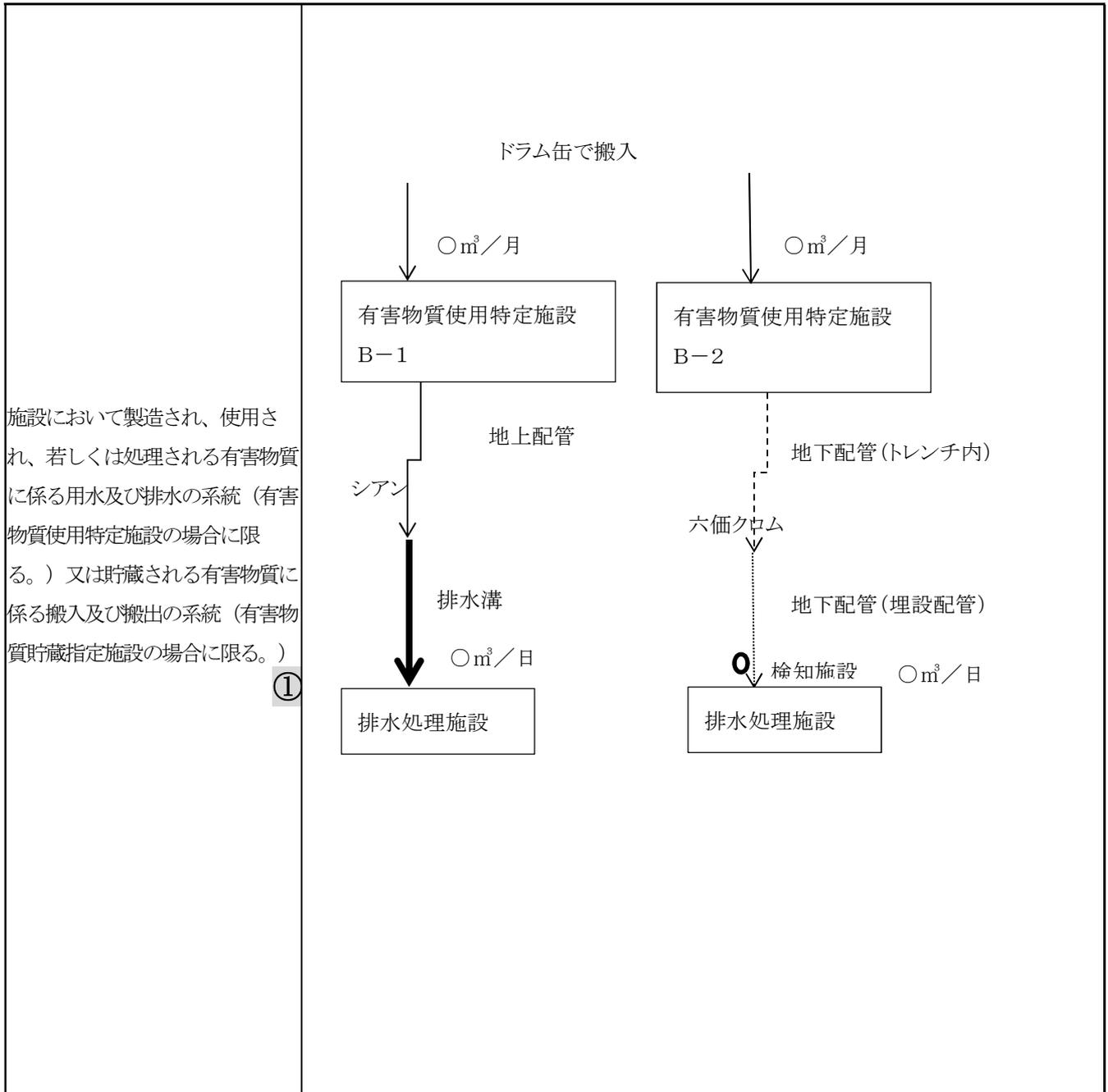
有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号 ①	B-1	B-2
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別 ②	有害物質使用特定施設 (65 酸又はアルカリによる表面処理施設)	有害物質使用特定施設 (66 電気めっき施設)
③	めっき工場1階 (配置は資料〇のとおり)	めっき工場1階 (配置は資料〇のとおり)
④	〇〇処理を行う	▲▲めっきを行う
使用時間間隔 ⑤	週に2～3日程度使用し、使用時間帯は不規則	10時～16時
1日当たりの使用時間 ⑥	4時間	6時間
使用の季節的変動 ⑦	なし	6月中旬～7月中旬 100%稼働 12月中旬～1月中旬 30%稼働 その他 70%稼働
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量（有害物質使用特定施設の場合に限る。） ⑧	<前処理行程> 〇〇 <〇〇処理> □□	<前処理行程> 〇〇 <めっき行程> □□
貯蔵する有害物質の種類（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。） ⑨		
その他参考となるべき事項 ⑩		

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び1日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

- ① 工場又は事業場における施設番号
別紙 12 の①「工場又は事業場における施設番号」に同じ。
- ② 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別
別紙 12 の②「有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別」に同じ。
- ③ 設置場所
特定施設を設置する建物の名称等を記載してください。
当該建物及び特定施設の位置を平面図等に記載し、添付してください。
- ④ 操業の系統
特定施設を含む作業の工程をフロー図（流れ図）で示し、添付してください。
- ⑤ 使用時間間隔
連続して使用する場合は、特定施設の使用開始時刻及び終了時刻を記載し、断続的に使用する場合は、その実態を記載してください。
- ⑥ 1日当たりの使用時間
1日の使用時間の合計を記載してください。
- ⑦ 使用の季節的変動
特定施設の使用に季節的変動がある場合に、通常時に対する変動割合、期間等その概要を記載してください。
- ⑧ 原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量（有害物質使用特定施設の場合に限る。）
有害物質使用特定施設を含む作業工程において使用する原材料（消耗資材を含む。）の種類、1日当たりの使用量、使用方法について記載してください。なお、記載欄に書ききれない場合は、別紙として添付してください。
 - 種類は、主に有害物質に関する事項について、原材料・薬品名を記載し、商品名を記載する場合は主な成分を記載してください。
 - 1日当たりの使用量は、単位を記載してください。
 - 原材料の使用目的、使用方法及び使用するときの濃度等を記載してください。
- ⑨ 貯蔵する有害物質の種類（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）
有害物質貯蔵指定施設で貯蔵する有害物質の種類を記載してください。
 - 種類は、主に有害物質に関する事項について、原材料・薬品名を記載し、商品名を記載する場合は主な成分を記載してください。
 - 貯蔵するときの濃度等を記載してください。
- ⑩ その他参考となるべき事項
当該施設から出る汚水を公共下水道に排除する場合、廃棄物として委託処理する場合等は、その旨を記載してください。
施設の使用の方法について、その他参考となるべき事項があれば記載してください。

用水及び排水の系統(搬入及び搬出の系統)



用途別 用水使用量	用 途	使 用 水	用水使用量(m ³ /日)
	めっき等工程	上水	○m ³

②

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、用途別用水使用量の欄には記載しないこと。

① 用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）

<有害物質を含む水に係る用排水のバランスシート>

バランスシートは、給水又は搬入から処理施設までに至る事業場内の有害物質を含む水の流れを示したフロー図（流れ図）とし、フロー図中に次の項目を記載してください。

- 用水・搬入 : 用水は水源別（水道水、井戸水、温泉水、工業用水、雨水利用等）、搬入は搬入の方法を記載し、それぞれ量（ m^3 ／日）を記載してください。
- 主な施設・作業 : 水を使用する主な施設又は作業及び排水処理装置等を記載し、それぞれ使用（処理）水量（ m^3 ／日）を記載してください。
また、蒸発、製品・廃棄物として持ち出す等の水量の減少が生じる作業がある場合には、そのことについても記載し、併せて減水量（ m^3 ／日）を記載してください。

② 用途別用水使用量

有害物質を含む水に係る用水について、記載してください。使用水は、水道水、井戸水、工業用水、温泉水等、水源の種類を記載してください。

最下欄に、用水使用量の合計を記載してください。

※ 有害物質貯蔵指定施設の場合には、記載する必要はありません。

市独自様式(概要一覧)

1 添付書類図面等一覧

No	名称
	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設 (以下、有害物質使用特定施設等という。)の構造
	・構造図
	・施設、関連する主要機械、主要装置の配置図 (平面図)
	・床面及び周囲を特定する図(平面図)
	有害物質使用特定施設等の設備
	・施設、付帯設備等の配置図(平面図)
	・施設、付帯設備等の配置図(立面図)
	・施設、付帯設備等の関係図(フロー図)
	有害物質使用特定施設等の使用の方法
	・有害物質使用特定施設等の設置場所(場内図)
	・有害物質使用特定施設等を含む操業の系統
	・有害物質を含む物質の SDS
	用水及び排水の系統(搬入及び搬出の系統)
	・用排水(搬入及び搬出)のバランスシート
	・用排水(搬入及び搬出)の系統
	その他の図面等
	工場案内図

2 届出理由

--

3 他法令による許可・届出の状況

川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例	不要・未了・完了
大気汚染防止法	不要・未了・完了
騒音規制法	不要・未了・完了
振動規制法	不要・未了・完了
廃棄物処理法	不要・未了・完了

4 有害物質使用特定施設(有害物質貯蔵指定施設)一覧表

	施行令別表第1の番号	今回届出後の台数
有害物質使用特定施設		
有害物質貯蔵指定施設		

5 工場概要等

資本金	千円	全従業員数	人	業種(細分類)	
主要製品				操業時間	
用途地域		敷地面積		建物面積	
担当部課係		担当者		電話	

① 添付図面等一覧

別紙12～15に関する添付図面等の番号を該当する欄に記載してください。
工場案内図等その他必要な添付書類については、その他の図面等の欄に必要な応じて記載してください。

② 届出理由

届出の理由を具体的に記載してください。
(新設する・排水系統を変更する・下水道に接続する等を具体的に)

③ 他法令による許可・届出の状況(手続)

法令ごとに該当する手続きの状況(不要・未了・完了)を○で囲んでください。
ここでの、「不要」とは、当該法令に基づく手続きが必要ではない状況をいいます。
また、当該法令に基づく手続きが必要な場合で、許可を受けた状況又は届出が受理された状況を「完了」とし、それ以外の状況については全て「未了」とします。

④ 有害物質使用特定施設(有害物質貯蔵指定施設)一覧表

今回の届出に係る有害物質使用特定施設及び有害物質貯蔵指定施設を含む、事業場内の全ての有害物質使用特定施設及び有害物質貯蔵指定施設について記載してください。
欄内に記載しきれない場合には、別紙に記載し、添付してください。その場合、欄内に「別紙○○に記載」と記載してください。

⑤ 工場等概要

従業員数は、届出に係る特定事業場の従業員数(パートを含む。)とします。
業種は、日本標準産業分類における細分類を記載してください。
用途地域は、都市計画法で定められている用途地域名とします。

有害物質の使用状況

項目	有害物質使用特定施設 又は有害物質貯蔵指定 施設における使用①	特定事業場 における使用②	備考③
カドミウム及びその化合物			
シアン化合物	シアン化ナトリウム	シアン化ナトリウム	亜鉛めっき浴液
有機燐化合物(ハ ^o ラチオン, メル ^o ラチオン, メル ^o ジメトン及びE P Nに限る。)			
鉛及びその化合物		硫酸鉛	塗装工程、塗料
六価クロム化合物	クロム酸カリウム	クロム酸カリウム	クロメート浴液
砒素及びその化合物			
水銀及びアルキル水銀その他の水 銀化合物			
P C B			
トリクロロエチレン			
テトラクロロエチレン			
ジクロロメタン			
四塩化炭素			
1, 2-ジクロロエタン			
1, 1-ジクロロエチレン			
1, 2-ジクロロエチレン			
1, 1, 1-トリクロロエタン			
1, 1, 2-トリクロロエタン			
1, 3-ジクロロプロペン			
チウラム			
シマジン			
チオベンカルブ			
ベンゼン			
セレン及びその化合物			
ほう素及びその化合物			
ふっ素及びその化合物	フッ化水素酸	フッ化水素酸	亜鉛めっき浴液
アンモニア、アンモニウム化合 物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物			
塩化ビニルモノマー			
1, 4-ジオキサン			

○ 有害物質使用特定施設及び有害物質貯蔵指定施設並びに特定事業場において有害物質を製造、使用、処理
又は貯蔵しているときは、チェックし物質名を記載してください。
また、使用している場所を示す図面を添付してください。

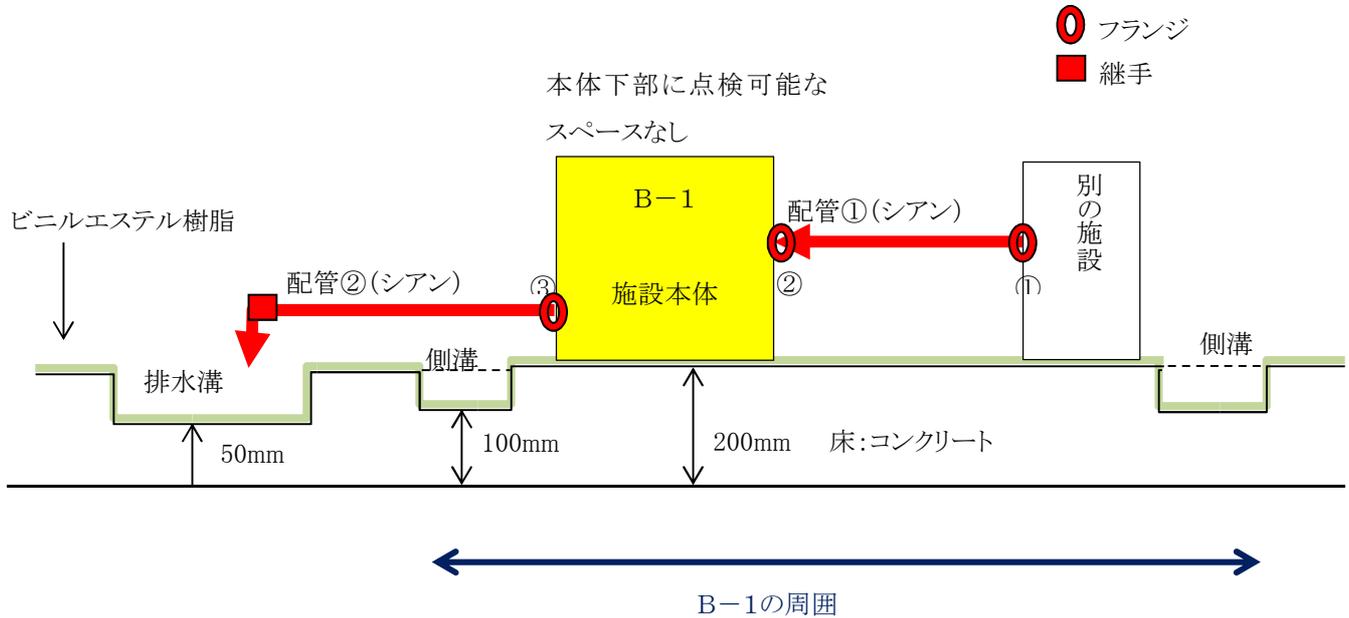
有害物質の使用

- ① 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設における使用
特定施設において、表の第1欄に掲げる物質を製造、使用、処理又は貯蔵している場合には、当該物質の物質名を記載してください。
副産物として得られる場合を含みます。
- ② 特定事業場における使用
特定施設以外の場所で、表の第1欄に掲げる物質を製造、使用又は処理している場合には、当該物質の物質名を記載してください。
使用せずに保管しているだけの場合や副産物として得られるなど直接事業の目的と異なる場合であっても、表の第1欄に掲げる物質を取り扱う場合には記載してください。
- ③ 備考
表の第1欄に掲げる物質の使用状況等を記載してください。

ex. ○○○製造ライン使用、触媒、生成物、助剤...

構造基準に係るチェック表

構造等に関しては、次ページ以降のチェック表を作成してください。また、チェック表の内容を図面等にも書き込むなどしてください。



○床面及び周囲の構造等

コンクリート 200mm

ビニルエステル樹脂で被覆

側溝 (容量〇L 幅100mm×深さ100mm×7m)、ためます (容量〇L W500mm×D500mm×D400mm)

○配管等

配管①

有害物質の種類 シアン

ステンレス鋼製

内面:〇〇で被覆 外面:被覆なし

内径100mm×〇m

フランジ①

配管②

有害物質の種類 シアン

ステンレス鋼製

内面:〇〇で被覆 外面:被覆なし

内径100mm×〇m

○排水溝等

コンクリート 50mm

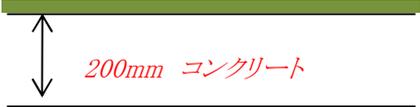
ビニルエステル樹脂で被覆

幅300mm×深さ200mm×〇m

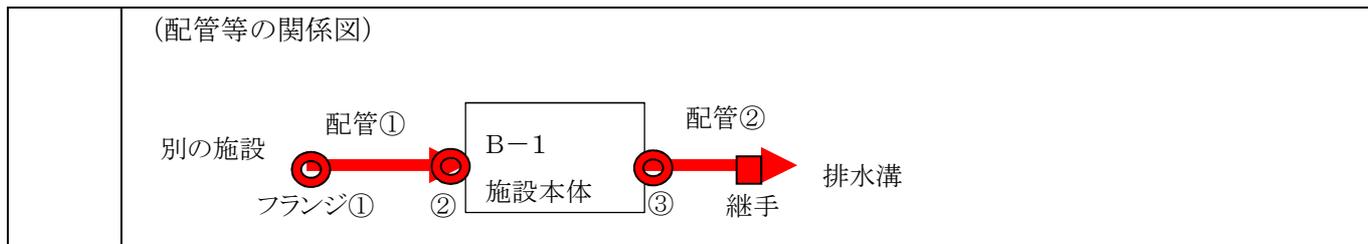
構造基準等に係るチェック表 1 (施設本体の床面及び周囲の構造等)

有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の名称	B-1 65 酸又はアルカリによる表面処理施設
---------------------------	-------------------------

使用、製造、処理、貯蔵する有害物質	シアン
-------------------	-----

施設本体の床面及び周囲の構造等	<input checked="" type="checkbox"/> 床面が不透水性を有する材料による構造 (<input checked="" type="checkbox"/> 施設本体下部を含む) <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート (第 1 層目 200mm) <input type="checkbox"/> タイル (第 層目 mm) <input type="checkbox"/> FRP (第 層目 mm) <input checked="" type="checkbox"/> 被覆材 (ビニルエステル樹脂) <input type="checkbox"/> その他 () (断面図) (不透水性構造の範囲) 本体下部及び周囲 <i>被覆:ビニルエステル樹脂</i> 
	<input checked="" type="checkbox"/> 防液堤等の設置 (容量: 2m3) <input type="checkbox"/> 防液堤 <input checked="" type="checkbox"/> 側溝 <input checked="" type="checkbox"/> ためます <input type="checkbox"/> ステンレス鋼製受皿 <input type="checkbox"/> その他 ()
	<input type="checkbox"/> 漏えい等を検知するための装置 (装置の具体的な記載、設置場所等)
	<input type="checkbox"/> 施設本体の下部に点検できる空間があるか <input type="checkbox"/> 施設が床面から離して設置され、目視により漏えいが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施設が設置されている床の下部に、天井等上部からの漏えいを日常的に確認できる空間がある。
	<input type="checkbox"/> その他の措置 (具体的に記載)

構造基準等に係るチェック表 2 (配管等)



配管等	配管等 1 名称 (配管①)	種類	<input checked="" type="checkbox"/> 配管 <input checked="" type="checkbox"/> 継手類 <input checked="" type="checkbox"/> フランジ類 <input type="checkbox"/> バルブ類 <input type="checkbox"/> ポンプ設備 <input type="checkbox"/> その他 ()
		有害物質の種類	シアン
		設置場所	<input checked="" type="checkbox"/> 地上 <input checked="" type="checkbox"/> 漏えいが目視により容易に確認できるように、床面から離して設置 <input type="checkbox"/> 漏えいが目視により確認できる (容易ではない) <input type="checkbox"/> 地下 <input type="checkbox"/> トレンチの中に設置 <input type="checkbox"/> トレンチの床面・側面は不浸透性を有する材料である (材質:) <input type="checkbox"/> 底面の表面は耐薬品性及び不浸透性を有する材質で被覆が施されている (被覆材:)
		<input checked="" type="checkbox"/>	有害物質を含む水の漏えいの防止に必要な強度を有する (材質: ステンレス鋼製 内径 100mm×Om)
		<input checked="" type="checkbox"/>	有害物質により容易に劣化するおそれのない (材質: 内面を〇〇で被覆)
		<input type="checkbox"/>	配管等の外面には、腐食を防止するための措置が講じられている (措置:)
		<input checked="" type="checkbox"/>	配管等が設置される条件の下で腐食するおそれのない (理由: 屋内で使用する)
		<input type="checkbox"/>	有害物質を含む水の漏えい等を確認できる措置 <input type="checkbox"/> 配管等からの有害物質を含む水の漏えい等を検知するための装置 () <input type="checkbox"/> 配管等における有害物質を含む水の流量の変動を計測するための装置 () <input type="checkbox"/> その他 ()
<input type="checkbox"/>	その他の措置 (地下)		

備考 配管等が複数ある場合には、この様式を配管等の数だけ作成してください。

構造基準等に係るチェック表3（排水溝等）



排水溝等	排水溝等1 名称 (排水溝)	種類	<input checked="" type="checkbox"/> 排水溝 <input type="checkbox"/> 排水ます <input type="checkbox"/> 排水ポンプ <input type="checkbox"/> その他 ()
		<input checked="" type="checkbox"/>	有害物質を含む水の地下への浸透の防止に必要な強度を有する (コンクリート製 50mm)
		<input checked="" type="checkbox"/>	有害物質により容易に劣化するおそれのないものである
		<input checked="" type="checkbox"/>	排水溝等の表面は、有害物質を含む水の種類又は性状に応じ、必要な場合は、耐薬品性及び不浸透性を有する材質で被覆が施されている (材質：ビニルエステル樹脂)
		<input type="checkbox"/>	有害物質を含む水の地下への浸透を確認できる措置 <input type="checkbox"/> 排水溝等からの有害物質を含む水の地下への浸透を検知するための装置 () <input type="checkbox"/> 排水溝等における有害物質を含む水の流量の変動を計測するための装置 () <input type="checkbox"/> その他 ()
	<input type="checkbox"/>	その他の措置 (具体的に記載)	

備考 排水溝等が複数ある場合には、この様式を排水溝等の数だけ作成してください。

構造基準等に係るチェック表 4 (地下貯蔵施設・使用の方法)

地下貯蔵施設	<input type="checkbox"/>	人が容易に立ち入ることができる地下室に設置されている。
	<input type="checkbox"/>	有害物質を含む水の漏えい等を防止する措置を講じた構造及び材質 <input type="checkbox"/> タンク室内に設置 (材質:) <input type="checkbox"/> 二重殻構造 (材質:) <input type="checkbox"/> 内部コーティング (材質:) <input type="checkbox"/> その他 ()
	<input type="checkbox"/>	地下貯蔵施設の外面は、腐食を防止するための措置が講じられている
	<input type="checkbox"/>	地下貯蔵施設が設置される条件の下で腐食するおそれのない (理由:)
	<input type="checkbox"/>	有害物質を含む水の量を確認できる措置 <input type="checkbox"/> 地下貯蔵施設の内部の有害物質を含む水の量を表示する装置 <input type="checkbox"/> その他 ()
	<input type="checkbox"/>	有害物質を含む水の漏えいが確認できる措置 <input type="checkbox"/> 漏えい等を検知するための装置 (装置の具体的な記載、設置場所等) () <input type="checkbox"/> 地下貯蔵施設における有害物質を含む水の流量の変動を計測するための装置 ()
	<input type="checkbox"/>	その他の措置 (具体的に記載)
使用の方法	<input checked="" type="checkbox"/>	有害物質を含む水の受入、入替え及び分配その他の有害物質を含む水を取り扱う作業は、有害物質を含む水が飛散し、流出し、又は地下に浸透しない方法で行う。
	<input checked="" type="checkbox"/>	有害物質を含む水の補給状況及び設備の作動状況の確認その他の施設の運転を適切に行うために必要な措置を講ずる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	有害物質を含む水が漏えいした場合には、直ちに漏えいを防止する措置を講ずるとともに、当該漏えいした有害物質を含む水を回収し、再利用するか、又は生活環境保全上支障のないよう適切に処理する。
管理要領	<input checked="" type="checkbox"/>	使用の方法並びに使用の方法に関する点検の方法及び回数を定めた管理要領が明確に定められている